※令和４年度以降入学生用

学校番号	４１４

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「探求　文学国語」（桐原書店）						
副教材等	「語彙力をつける　入試漢字 2600」（株式会社筑摩書房） 「ちくま文学講座　初級編」（株式会社筑摩書房） 「新版七訂　新訂総合国語便覧」（株式会社第一学習社） 「国語便覧ワークノート」（株式会社第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年生で学んだ内容を基礎に、ものの見方，感じ方，考え方を深め，進んで読書することによって，国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育みます。また、筆者の思考、表現をとらえ、自らの考え、表現の参考にできるよう学びましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	「書くこと」、「読むこと」の 各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	〈知〉のコミュニティへ ［教材］ 感触ーー世界のリアル 保坂和志（p.10～p.15）	a：文体の特徴や修辞などのさまざまな表現の技法について、体系的に理解し効果的に使用している。 b[読]:内容や解釈を適切に踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：「感触」について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめようとしている。	記述の確認及び定期考査 小テスト	記述の確認及び定期考査	行動の観察と確認
	小説Ⅰ ［教材］ ランドセル 角田光代（p.16～p.28） 活動のプロセス1　書く ［教材］ 本を紹介する (P29～31)	a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]:聞き手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 ［話/聞］：自分の考えが的確に伝わるよう、話の構成や展開を工夫している。 c:効果的に言葉を用いながら、スピーチ原稿を作成しようとしている。	記述の確認及び定期考査 小テスト	記述の確認及び定期考査 発表の評価	行動の観察と確認
	小説Ⅱ ［教材］ 山月記 中島敦（p.46～p.58）	a:「山月記」における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使用している。 b[読]:人物の心情の推移を把握しながら文章を読み取っている。 c:文章の特色に注目することで内容の深い理解をめざそうとしている。	記述の確認及び定期考査 小テスト	記述の確認及び定期考査	行動の観察と確認
二学期	短歌･俳句 ［教材］ 短歌八首（p.114～p.115）	b[書]:教材の内容を理解した鑑賞文を書いている。 c:近代の短歌史や各歌の作者に関心を持ち、調べている。		記述の確認及び定期考査 鑑賞文の確認	行動の観察と確認
	戦争と人間 ［教材］ 靴の話　大岡昇平 （p.122～p.133）	b[読]:「靴の話」に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。		記述の確認及び定期考査	行動の観察と確認

※令和４年度以降入学生用

		c:本文の内容を踏まえて作者の従軍の経験について話し合い、自分の考えを深めようとしている。			
	小説Ⅴ ［教材］ こころ　夏目漱石 （p.178～p.211）	ａ：文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について体系的に理解し使っている ｂ［読］：文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 ｃ：粘り強く登場人物の関係性と心情を描写から把握し、今までの学習を生かして人の心のありようについて考えを深め、自分の考えを話し合おうとしている。	記述の確認及び定期考査 小テスト	記述の確認及び定期考査	行動の観察と確認 発表の評価
	詩 ［教材］ 天景・猫　萩原朔太郎 （p.66～p.67） 永訣の朝　宮沢賢治 （p.68～p.71 ） サーカス　中原中也 （p.72～p.73）	a:文体の特徴や修辞などのさまざまな表現の技法について、体系的に理解し効果的に使用している。 b[読]:構成や展開、表現の仕方を十分に踏まえ、解釈の多様性について考察を深めている。 c:詩の内容を踏まえてそれぞれの詩の発想の独特さについて話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	記述の確認及び定期考査 小テスト	記述の確認及び定期考査	行動の観察と確認
	文学評論Ⅱ ［教材］ 餓鬼道としての詩　松浦寿輝 （p.172～p.177）	a:「餓鬼道としての詩」やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]:「餓鬼道としての詩」に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 c:本教材から学習したことを踏まえ、効果的に言葉を用いながら、肴蔬目録を創作しようとしている。	記述の確認及び定期考査 小テスト	記述の確認及び定期考査	行動の観察と確認 発表の評価

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　１５～２０　）時間

・読むこと　…　（　５０～５５　）時間